

## 安全データシート

ページ: 1/10

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Kollidon® 17 PF / コリドン 17 PF

バージョン: 8.1

(30034981/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

**品名:**

Kollidon® 17 PF

コリドン 17 PF

用途: 補助薬

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

**【化学品のGHS分類】:**

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

**【GHSラベル要素】:**

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

本品は、条件によっては粉塵爆発を起こす可能性がある。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 22. 03. 2024

製品: Kollidon® 17 PF / コリドン 17 PF

バージョン: 8.1

(30034981/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

ポリビニルピロリドン

CAS番号: 9003-39-8

化審法: (6)-1007

労働安全衛生法: (6)-1007

#### GHS分類に寄与する成分

イソプロピルアルコール

含有量 (W/W): &lt; 0.5 %

CAS番号: 67-63-0

化審法: (2)-207

労働安全衛生法: (2)-207

引火性液体: 区分 2

急性毒性: 区分 5 (経口)

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (眠気とめまい)

有害性は特になし。

化学式: (C<sub>6</sub> H<sub>9</sub> N O)<sub>x</sub>

### 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

---

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

シアン化合物, 窒素酸化物, 炭素酸化物, 有害な蒸気

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。粉塵爆発の危険性あり。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

---

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

粉塵を発生させない。保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

小量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。粉塵を発生させない。

[追加情報]: 粉塵の生成と蓄積を避けることー粉塵爆発の危険性。空気中に埃をまき散らすことを避ける（例：圧縮空気です埃の面をクリーニングする）。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵を発生させない。粉塵が発生した場合には換気を行うこと。

安全取扱注意事項:

本品は粉塵爆発を起こす危険性がある。粉塵を発生させない。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。耐爆発性器具及び装備を用いること。

粉塵爆発クラス: 粉塵爆発 クラス2 (Kst-value 200 up to 300 bar m s<sup>-1</sup>).

#### [保管]

保管条件に関する追加情報: 容器を密閉して保管すること。室温で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

イソプロピルアルコール, 67-63-0;

STEL (short term exposure limit : 短時間 400 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 200 ppm (ACGIHTLV)

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 200 ppm (労働安全衛生法 (JP))

CLV (ceiling limit value : 上限値) 980 mg/m<sup>3</sup> ; 400 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

### 【保護具】

[呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。固体粒子に対して低効率の微粒子フィルター（例：EN 143 P1型もしくはEN 149 FFP1型）。

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋を着用すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

粉末

色:

白色～クリーム色

臭い:

ほぼ無臭

臭いのしきい値:

測定されていない。

pH:	3 – 7 (100 g/l, 20 ° C)	
融点範囲:	>= 130 ° C 分解する。	
沸点:	適用せず	
引火点:	該当しない、製品は固体である。	
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。	
可燃性 (固体/ガス):	可燃性低い。	(VDI 2263, sheet 1, 1.1)
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。	
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。	
自然発火温度:	約 420 ° C	(DIN 51794)
熱分解:	170 ° C	(DSC (DIN 51007))
	170 ° C , > 340 J/g 自己分解性を示さない。	(DSC (DIN 51007))
自己発熱性:	UNクラス 4.2 の自然発火性物ではない。	(VDI 2263, sheet 1, 1.4.1)
SADT:	> 75 ° C	
爆発危険有害事項:	製品は、爆発性ではないが、空気と塵の混合により粉塵爆発の可能性がある。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	測定不能	
密度:	絶対密度に関する情報なし。代わりに、嵩密度を最も関連性の高い値として測定。	
嵩密度:	400 – 600 kg/m <sup>3</sup>	
相対ガス密度 (空気):	適用されない	
水に対する溶解性:	可溶	
溶解度 (定性的) 溶媒:	有機溶媒 可溶	

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :  
測定されていない。

粘度:  
適用されない

動粘性率:  
該当しない、製品は固体である。

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

粉塵を発生させない。静電気防止措置をとる。あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 170 ° C (DSC (DIN 51007))

熱分解: 170 ° C, > 340 J/g (DSC (DIN 51007))  
自己分解性を示さない。

[混触危険物質]:

強アルカリ

金属の腐食: 金属に対する腐食性はないと予測される。

[危険有害な分解生成物]:

粉塵爆発の危険性あり。

[危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

**ばく露経路**

**急性経口毒性**

実験または計算によるデータ:

LD50（半数致死量）ラット（経口）: > 5,000 mg/kg (BASF試験)

**急性吸入毒性**

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.2 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

### 急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

### 症状

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

### 刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (Draize試験)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (Draize試験)

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

データなし。

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

哺乳類を用いた試験では、本品は変異原性を示さなかった。

### 発がん性

発がん性の評価:

高用量の本物質が飼料経由で投与された長期動物試験では、発癌性は認められなかった。

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:

データなし。

### 発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。

### 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

注意: データなし。

### 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

反復投与毒性の評価:  
データなし。

### 誤えん有害性

適用せず

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) > 10,000 mg/l, ウグイ (学名 *Leuciscus idus*) (DIN 38412 第15部, 止水式)

微生物/活性汚泥への影響:

EC20 (20%影響濃度) (0.5 h) > 1,995 mg/l, 工業廃水由来の活性汚泥 (OECDテストガイドライン 209, 好気性)

### 移動性

環境区分間の輸送評価:

データなし。

### 残留性・分解性

除去情報:

< 10 % DOC減少 (15 日) (OECDテストガイドライン 302B) (好気性, 工業廃水由来の活性汚泥) 水からの除去困難。

### 生体蓄積性

生体蓄積性:

構造的特性から、ポリマーは生物学的に利用可能ではなく、生体蓄積性はないと考えられる。

## 13. 廃棄上の注意

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。



## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない
国連番号もしくはID番号	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### 海上輸送

#### IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
	海洋汚染物質: 非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### Sea transport

#### IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
	Marine pollutant: no
Special precautions for user	None known

### 航空輸送

#### IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号:	非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### Air transport

#### IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number:	Not applicable
UN proper shipping name:	Not applicable
Transport hazard class(es):	Not applicable
Packing group:	Not applicable
Environmental hazards:	Not applicable
Special precautions for user	None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

---

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物

イソプロピルアルコール

労働安全衛生法

通知対象物

### その他の規則

---

## 16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

---

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。